

CTC(血中循環腫瘍細胞)測定

微小流路デバイス(Microfluidic Chip)法

専用採血管保管および採血時注意事項

※CTC測定専用採血管 Streck社「Cell-Free DNA BCT®」10 mlは、ご希望の検体数分を弊社より事前にお送りいたします。

※採血管の蓋は、どの時点においても絶対に開けないでください。

◆ご使用前の保管 → 冷蔵	
	<p>ご使用前の採血管は<u>冷蔵にて保管</u>してください。</p> <p>CTC測定専用採血管「Cell-Free DNA BCT®」は2~30℃までの温度内で保管するよう定められております。この温度以外で保管した場合、有効期限が2週間程度まで大幅に減少しますのでご注意ください。</p> <p>一般の冷蔵庫内であれば概ね5~10℃ですので、安定して保管できます。</p>
◆採血直前 → 常温に戻す	
	<p>採血前は、採血管を常温(15~30℃)に戻す必要があります。冷蔵庫から取り出した後、<u>最低10分~15分、室温に置いてください</u>。採血直前には<u>採血管が常温に戻ったことを必ず確認の上、採血</u>してください。</p> <p>※冷暖房や直射日光に当たる場所、車中など、想定外の温度変化にはくれぐれもご注意ください。</p>
◆採血時	
 <ul style="list-style-type: none"> ●8.5~10 ml ●採血後すぐに! ●ゆっくりと10回以上! ●試薬と血液を均一に混ぜる! 	<ul style="list-style-type: none"> ・真空採血のガイドラインに従い、<u>空腹時</u>に採血してください。 ・採血管ラベルに氏名を必ず記入してください。 ・採血量(採血管内の試薬に対して最も適切な血液量)は原則 <u>10 ml</u>です。 8.5~9.0 mlあれば概ね測定可能ですが、8.5 ml未満または10 mlより多い場合や、試薬との混和が不十分な場合、凝固が発生し測定に影響を及ぼします。 <p>※万が一、凝固が発生しており測定不能の場合は再度採血をお願いする場合がございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>試薬と血液が均一に混ざるように採血後速やかに、転倒混和をゆっくりと10回以上、確実に実施してください。</u> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="612 1415 979 1621">  </div> <div data-bbox="1011 1415 1378 1621">  </div> </div>
◆採血後の保管 → 常温を保つ	
	<p>採血後の採血管は引き続き<u>常温にて保管</u>してください。<u>冷蔵および冷凍保管は禁止</u>です。がん細胞は、常温以外的高温および低温いずれにおいても非常に影響を受けやすいため、採血時から弊社への検体到着時まで、15~30℃の常温を一定に保つことが非常に重要となります。梱包・発送方法も同様に重要となりますので、こちらについては別紙「梱包・発送方法」を必ずご確認ください。</p>

ご不明な点がございましたら下記連絡先までお問合せください

<連絡先> 株式会社日本遺伝子研究所 CTC ラボ

〒983-00013 宮城県仙台市宮城野区中野 1-5-28 TEL:022-388-9741 FAX:022-388-9740 E-mail:ctc-lab@nrgl.co.jp